



2026 春号

新年度のごあいさつ

新年度がスタートしました。昨年の春号を読み返すと、「社会情勢が不安定ではありませんが」という言葉をこのごあいさつに載せていました。一年経って、良くなるどころか国際情勢はさらに悪化、その影響が至る所に出ていて、一刻も早く戦争を止めて欲しいと思います。そんな中でも、ホームの皆さんの食事、生活、その人らしさを大切に、毎日を安心して暮らせるホームでありたいという願いは変わりません。私たちにできる事を、毎日、ひとつ一つ積み重ねていくしかありません。皆さんの毎日が平穏でありますように。本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

●春はやっぱり、いちご狩り！ 「林」

今年も楽しみにしていたいちご狩りの日がやってきました。前日、スーパーでうっかりいちごを買いそうになり、危ないところでした。当日はとてもいいお天気で、ハウスの中は暑いくらい。

そんな気候のおかげか、今年のいちごは大きく、食べ応えがありました。私は六十二個でお腹がいっぱいになりました（何とか元はとったと思います）。

ホームの皆さんもいちごを手に笑顔で大満足！O・Mさんはついついたくさん食べすぎ、翌日お腹がゆるくなってしまったそうです。

毎年、ゆうなぎのいちご狩りは、スタッフの家族やそのお友達にも

参加してもらい、交流の機会としています。今年は小中学生のお友達とお母さん方が十名ほど参加して下さい、夕風の雰囲気も体感して頂けたと思います。

【問題】今年には中学生の女子が一番たくさんいちごを食べました。これまでで一番の記録です。さて一体いくつ食べたでしょう？



(問題の答え：108個)



●グループホームだより

くバレンタインチョコづくり 「羽澄」

二月のバレンタインデーは、ホームのみんなで手作りチョコに挑戦しました。初めてのトリュフチョコプレート。材料は、板チョコと生クリームと純ココアの三つだけ！

まずは板チョコをみんなでバリバリ砕き、レンジでチン。やわから

なくなったところに生クリームを入れてよく混ぜたらラップをして、冷蔵庫で一〜三時間ほど冷やし固めます。固まったチョコをラップに載せて包んで丸めたら、全体にココアをまぶして出来上がり。

最初はみんな、「丸めるのできない」「初めてだからできるか心配」と言っていました。何個も丸めるうちにコツをつかみ、スピードもアップして上手な仕上がりになりました。

できたてをさつそく一個頬張って、「おいしく！」と大満足。差し上げる方の分をラッピングして、残りは三時のおやつに。

チョコつとの時間でしたが、楽しそう。自信に満ちた顔が最高でした！



恒例行事、お花見

「森」

「一輪咲いた」「いくつか咲いたから開花宣言だね」と今か今かと待っていた桜の開花。三月最後の週末はお天気にも恵まれお花見ができました。一号館近くの公園の桜に続き、事務所まで散歩して繁田川の桜、気噴公園の桜も楽しめました。

公園ではキッチンカーのコーヒーをいただかれ、桜ウォーキングのご褒美を味わわれました。一号館に戻られてから待望のお花見弁当。天ぷら、焼き鳥をメインに春らしいお弁当を用意させていただきました。

おいしく、やわらかく、食べやすく季節感を味わっていただけるよう工夫しました。

春満開、新年度の話題に花が咲き、明るい気持ちで春を迎えました。



四つのお願い

「八色(知)」

「よく食べて、よく寝て、よく笑って、よく出す」

常々、ホームの利用者さんに伝えていることです。健康で元気に生活して頂くためのキーワードとして、覚えていただいています。そんな生活の中で、八色の顔を見るとあいさつがわりに「できました、よく眠れました」と報告してくれます。

「ありがとう、良かったね」と返して、必ずその方に合ったジョークを一つ飛ばして、笑いをとることにしています。こんなさり気ない日常の会話が、この仕事を続けてきて良かった、と思える瞬間でもあります。

ホームの開設から二十年、平均年齢六十三歳と中高年の領域に入り

ました。七十六歳〜三十四歳までと幅広いですが、大きなトラブルや入院、ケガもほとんどなく「地域に根差したふつうの暮らし」をしました。大勢の支援者の方々のお力添えに改めて感謝です。

この先も、「四つのお願い」を守って生活してゆけることを切に願っています。

「満ホール」 「八色（知）」

【ご注意】想像力が豊かな方は食事の前後を避けてお読みください。

グループホーム2号館は、築四十五年以上の貸家です。今どきの住宅と比べると狭くて不便も多い建物ですが、四人の方が仲良く暮らしています。老朽化はもちろん、建物の一番奥にトイレがあり、下水管が他の家よりも長い設計になっている関係でしょうか、時々大変困ったことが起こります。

その都度呼び出され、スポスポしたり、ぐるぐるしたり、四苦八苦。手に負えず専門業者を呼んだり、最終的には便器も交換し、苦勞してきました。「よく出す」と言いつつも、これでは・・・と情けなくなります。

しかし問題は、トイレで起きていたのではなく、大きな下水管に合流するまでの距離とその構造にあることがやっとなっていました。

床下を走る長い下水管が、玄関の下あたりで直角に方向を変えるルートになっていること。傾斜がゆるやかなこともあり、その場所に留まり、蓄積され、ある時突然起こってしまうことがよくわかりました。原因がわかってからは毎日のようにマンホールを覗き、「満ホール」になってしまわないようにお手伝いをしています。

スタッフの仕事が増えてしまい申し訳ない気持ちですが、この原始的な方法が今のところ一番安全で快適な毎日を保証してくれています。「くさいものには、フタをしてはいけない」事も学びました。



《ご寄付いただいた皆様》※1月〜3月順不同

米澤様 竹島様 羽澄様 加藤様
三浦様 理容カンベ様 H&L様

小麦粉、お野菜、果物、コーヒー等頂きました
いつもゆうなぎを応援して下さい、ありがとうございます。

ゆうなぎ・ゆうなぎプラス ホームページができました！

グループホームの紹介、かわら版、お知らせ、
ゆうなぎプラス(外出支援)の紹介などを掲載しています。
是非一度のぞいてみてください！

このページの完成しました。2024.07.04
※ かわら版2024年8月号を発行しました。※ 2024.08.30
※ かわら版2025年1月号を発行しました。※ 2025.11.01

ゆうなぎプラス
外出支援サービス

今のライフスタイルにプラスの楽しみを！
施設入居の方で自宅でも生活を必要とされている方、お出掛けになって、外食がって、買い物だって楽しみたいそんな方に外出支援サービスがあります。一人ひとりのご要望に合わせて、ご本人、ご家族の方の安心、快適、満足できる支援に努めてまいります。

※ 実施内容
お散歩やお買物、外食や喫茶、映画鑑賞などの要望にスタッフが同行しサポートします。

※ 実施内容
食料品や日用品、衣類や靴などのお買物を代行してお届けします。

※ 実施内容
日傘の借り出し、衣類の洗濯やお掃除、また施設入居者の方の車庫外駐車場の確保、お届け、車椅子の清掃など。

こちらの QR
コードから見
られます！



《ゆうなぎ・グループホームタ凧年間行事予定》

4月11日(日) いちご狩り
4月26日(日) お楽しみ会

5月19日(火) ゆうなぎ定期総会

5月～6月 春の個別レクリエーション

6月7日(日) 防災訓練:火災
6月21日(日) BBQ 弁当

7月26日(日) 流しそうめん

8月 お盆休みスケジュール(別途)

9月～10月 秋の個別レクリエーション

9月6日(日) 防災訓練:地震、水害

11月 いっぷくコンサート

11月22日(日) 防災訓練:高蔵寺区

12月20日(日) クリスマス会

12月29日(月) 餅つき

1月1日(金) 初詣

1月31日(日) 節分・恵方巻

2月14日(日) バレンタインデー

3月28日(日) お花見



編集後記

春休み中の子どもたちは、休日を満喫しながらも『4月からのクラスがどうなるか問題』がいつもどこかで気になっています。うちも同じで、中学生の長女も、6年生の次女も、それぞれに「○○先生がいい」「友達と離れたくない」と言っています。中学校は7クラスあり、友だちと一緒にいる確率はあまり高くありません。

そして迎えた始業式の日、先に帰宅する長女はとても晴れやかな顔で帰ってきました。「○○先生(大好きな先生)だった!友達もいて、最高!」と嬉しそう。でもきつと来年は最悪なクラスになるんだ…とネガティブさを覗かせながらも、幸先の良いスタートに心は軽くなったようです。夕方になって学童保育で目いっぱい遊んできた次女も帰宅。元気そうだったので、クラスどうだった?と聞く途端に顔がくもり、「もう最悪!友だちもいないし先生も厳しい。もう修学旅行も行きたくない」とのこと。仲の良かった友だちとことごとく離れてしまい、友だちと遊ぶために学校に行っている彼女にとってはつらい状況。まさに、天国と地獄。落ち込む次女に、私と長女はかける言葉が見つかりませんでした。

そろそろ4月も終わりですが、いつも通り友だちと遊んでいるように見えても学校の話になるとやはり気持ちさがザワザワしている様子の次女。果たしてどんな一年になるのか。

来年の3月、どの子にもこの一年間の思い出がたくさんできていきますように。(林)

発行日 令和7年4月30日

発行 NPO法人ゆうなぎ(春日井市高蔵寺町一―一六)

発行責任者 荒井 吉広 / 構成・編集 林 晶子